

# クイックシート【組込式】貼付タイプ 施工手順



一般社団法人日本標識工業会 自主管理合格製品  
NSA-110

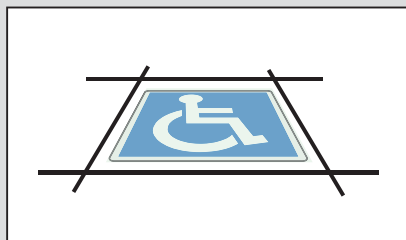
## ■施工方法

### 1 位置決め

設置位置を決め、作図します。

レイアウト図が入っている場合は、図にしたがって展開してください。

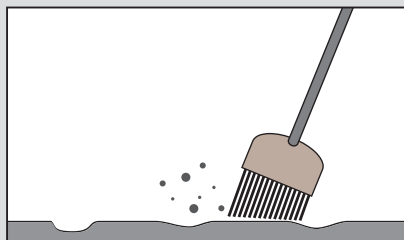
表面の保護シートは、この時点では剥がさないでください。



### 2 清掃

ほうき等で設置面の清掃をします。

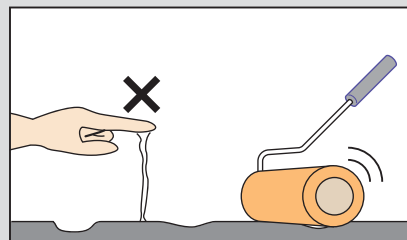
凹部分は念入りに掃きだしてください。



### 3 プライマー 塗布・乾燥

専用プライマーを設置面凹部まで均一に塗布し、指で触れても“付着しなくなるまで”十分に乾燥させます。

塗りすぎ・乾燥が足りないと剥がれの原因となります。



### 4 貼付

シートの裏紙(剥離紙)を少し剥がし貼付けます。

裏紙(剥離紙)を徐々に剥がしながら設置面に貼付けていきます。

表面の保護シートは、この時点では剥がさないでください。



### 5 転圧

シート中央から外側に向けて**表面の保護シートの上から**ゴムハンマー等で空気を抜くように転圧します。特にエッジ部分は十分に転圧して下さい。

車のタイヤで転圧する際はシート上でハンドルをさらないように注意下さい。

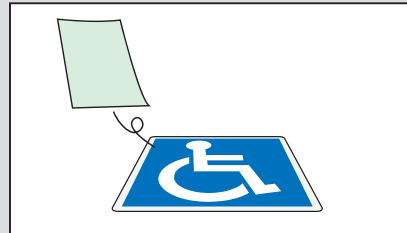


### 6 施工完了

シート転圧後、設置面の凹凸部までシートが接着していることを確認します。

**表面の保護シートを剥がしてください。** 施工完了です。

設置面とシートの間に隙間があると、水が浸水し剥がれる恐れがあります。



## ■施工の注意点

- 設置面に水分が残っていたり、ゴミやホコリ、油分などの汚れが付着している場合は剥がれの原因になります。十分に乾燥、清掃を行ってください。
- 施工時の外気温が低いとき(気温10℃以下)は、ガスバーナーなどで設置面の温度を40℃程度になるまで加熱してください。
- シートは、施工直前まで直射日光を避け涼しい所に立掛厳禁で保管ください。
- バーナー使用時は火気に充分ご注意ください。
- 専用プライマーに記載されている注意書きを必ずお読みください。
- 設置面の適合性・接着性を充分にご確認ください。
- 設置面に凍結防止剤が残留している場合、必ず除去してください。

## ■施工場所の注意点

※下記の場所については施工を避けてください。

- 水没する場所。(雨が降ると水たまりになる場所など)
- 設置面に防水・撥水塗装がされている場所。
- 設置面に亀裂が入っている場所。
- コンクリート新設舗装から3ヶ月以内の設置面。表面のレイトランスにより接着性を損ねる原因になります。
- アスファルト打設直後の設置面。
- 設置面の凸凹が激しい場所。(アスファルト・コンクリート路面が劣化している場所など。)
- 車のタイヤの負荷がかかる場所。(車が急発進・急停止する、車のタイヤのステアリングがきられる場所など)
- 施工後は設置面の原状復帰はできかねますのでご注意ください。
- 公道への施工は道路管理者の許可が必要です。
- コンクリート面への施工をする場合、屋外ではコンクリートに含まれる水分により、施工後シートに膨らみが生じることがあります。
- その他、設置面に関して、ご質問がございましたら、当社までお問い合わせください。

※裏面に「プライマー塗布の注意点」等が記載されておりますので必ずお読みください。

## ■プライマー塗布の注意点

設置面	経年・路面状態	下地処理方法	注意事項
アスファルト	施工直後	清掃後 プライマー塗布しない	
	施工後1日～1週間	清掃後 プライマー塗布	塗布量はごく少量とする
	施工後1週間以降	清掃後 プライマー塗布	
コンクリート	施工後3か月未満	原則として施工しない	新設コンクリートは施工不可
	施工後3か月以降～6か月以内	表面を研磨後 清掃・プライマー塗布	プライマーの吸い込み状況により何度か塗布
	施工後6か月以降	表面を研磨後 清掃・プライマー塗布	
インターロッキング	コンクリート系	清掃後 プライマー塗布	
	陶板系	清掃後 プライマー塗布	
石 材	鏡面仕上げの場合	清掃後 プライマー塗布しない	
	鏡面仕上げ以外の場合	清掃後 プライマー塗布	塗布量はごく少量とする

## ■保管方法

- 直射日光、水漏れ、高温、低温、多湿を避け、火気のない屋内で保管してください。
- 立掛厳禁で、平らな場所に平置きで保管ください。
- 製品を変形させて保管しないでください。

## ■廃棄方法

- 本製品を廃棄する際は、各自治体の条例に従い、適切に処理してください。

## ■免責事項

- 第三者の故意、過失による不具合、天災、地盤や周辺環境に起因する製品の損傷、不具合。
- 経年劣化による汚れ、摩耗による製品の劣化や剥離。
- 万一、材料に起因する不都合が生じた場合は、材料のみ代替え提供いたします。二次的損害については、保証いたしかねますのでご了承ください。
- 本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不都合による損害・損失。